



あふん

第133号

平成19年5月1日発行

議会だより



ピカピカの一年生（英比小学校）

2P

3月定例会 19年度予算

4P

町財政の歳入歳出構成比

6P

常任委員会レポート

8P

一般質問 本町の財政状況の見通しは

15P

追跡レポート 介護予防の取り組みは

16P

いきいきボランティアグループ⑩ ふれあいの会

英比小体育館竣工



平成19年度 一般会計予算64億1千万円
予算総額 約129億8千万円余りで
4.2%の増額となりました

19年度新規事業その主なもの

タクシー料金助成事業

利用助成券の交付枚数を24枚から30枚に拡充する。

小中学生医療費助成事業

子育て支援及び福祉増進を目的に小中学生の入院医療費の助成をする。

農地・水・環境保全向上対策事業

地域ぐるみでの資源を守る共同活動、環境にやさしい先進的な営農活動を支援する。

防災対策事業

大規模災害に備え、消火用水と飲料水確保のための耐震性貯水槽を設置する。又防災活動拠点に備蓄倉庫を設置する。(耐震性貯水槽設置100トン1基)

防犯ブザー配布事業

登下校時における児童の安全を確保するため、防犯ブザーを小学校1年生270人に配布する。

校舎耐震改修事業

大規模地震に備えて学校施設の耐震改修工事を行う。

議案等

- ◎ 全員賛成可決
- 賛成多数可決
- × 否決

議案

- ◎ 阿久比町小中学生医療費の助成に関する条例の制定
- 阿久比町災害応急対策又は災害復旧のため派遣された職員に対する災害派遣手当に関する条例の一部改正
- ◎ 阿久比町職員給与に関する条例の一部改正
- ◎ 阿久比町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正
- ◎ 知多地方教育事務協議会規約の変更
- ◎ 知多地方視聴覚ライブラリー協議会規約の変更

- ◎ 愛知県市町村職員退職手当組合規約の変更
- ◎ 阿久比町道路線の認定及び廃止
- ◎ 平成18年度阿久比町一般会計補正予算
- ◎ 平成18年度阿久比町老人保健特別会計補正予算
- ◎ 平成18年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算
- ◎ 平成18年度阿久比町介護保険特別会計補正予算
- ◎ 平成19年度阿久比町一般会計予算
- 平成19年度阿久比町国民健康保険特別会計予算
- 平成19年度阿久比町老人保健特別会計予算
- ◎ 平成19年度阿久比町土地取得特別会計予算
- ◎ 平成19年度阿久比町下水道事業特別会計予算

意見書

- 平成19年度阿久比町介護保険特別会計予算
- ◎ 平成19年度阿久比町下水道事業会計予算

陳情

- ・ 市町村管理栄養士設置に関する陳情
- ・ 「リハビリテーションの日数制限撤廃を求める意見書」の提出に関する陳情
- ・ トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書の提出についての陳情

意見書

町民の声を

内閣総理大臣などに提出

可決 リハビリテーションの日数制限の撤廃を求める意見書

提出者 鈴村 一 夫 議員

平成18年4月の診療報酬改定により、保険診療の適用される期間が限定され、リハビリテーション医療が大幅に制限された。その結果、リハビリテーションが打ち切られる事態が生じ、リハビリテーションを必要とする患者の身体機能の低下も懸念され、患者の立場に立った見直しが求められる。

個々の患者の必要に応じた十分なリハビリテーションを提供できるよう次の点を要望する。

- 次期診療報酬改定を待つことなく、速やかにリハビリテーションの診療報酬上の日数制限を撤廃すること。

可決 公費の妊婦健診制度にエコー検診を含め充実を求める意見書

提出者 杉野 明 議員

妊婦健診検査は、母体や胎児の健康確保を図る上からも、また少子化対策の一環として妊婦への経済的精神的な負担の軽減は、重要になってきている。

特に、妊婦の健診回数を14回に増やすことや母体のエコー検診を行い充実させることは、多くの妊婦を安心させる意味を持っている。

一般的には、医師の勧めもあり誕生までに最低3回程度は受診しており、多くの妊婦が、それ以上のエコー検診を受診している。

このような状況下で、公費負担のエコー検診も行い、妊婦健診制度を充実させたい自治体に対し、子育て・少子化対策を最重点課題と位置づけている国において、その財源的裏付けの必要性は、社会的合意を得ることが出来るものである。

よって、政府ならびに国会におかれては、母体と胎児の健康をはかるために次の点を講じられるよう要望する。

- 妊婦健診の公費健診内容にエコー検診も含め、一層の充実を図りすすめること。

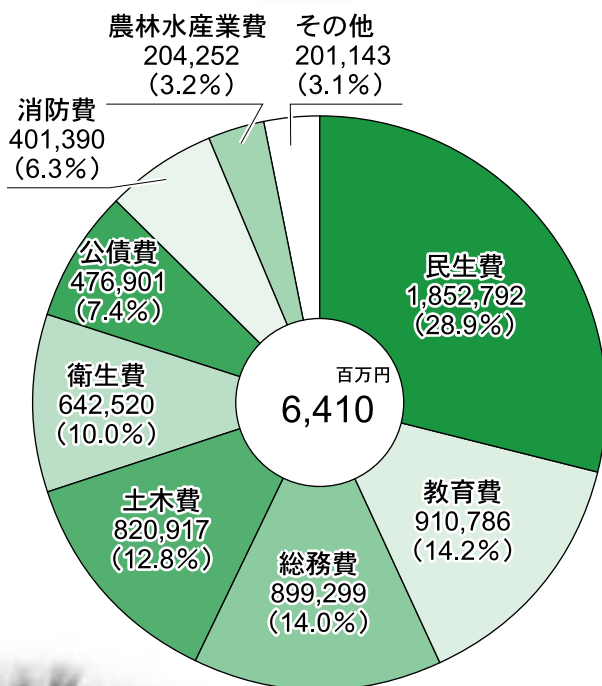
歳入歳出

一人当たり約256千円

町の人口(4/1現在)
25,013人

歳出構成

(千円)



歳出	予算額 千円	前年比 %	町民一人当 支出 円
議会費	98,945	△ 8.7	3,955
総務費	899,299	1.5	35,953
民生費	1,852,792	0.7	74,073
衛生費	642,520	△ 2.0	25,687
労働費	46,456	△ 7.7	1,857
農林水産業費	204,252	10.4	8,165
商工費	46,035	△ 0.5	1,840
土木費	820,917	△ 3.4	32,819
消防費	401,390	17.3	16,047
教育費	910,786	2.1	36,412
災害復旧費	3	0.0	0
公債費	476,901	6.0	19,066
諸支出金	2	0.0	0
予備費	9,702	16.5	387
歳出合計	6,410,000	1.5	256,261

会計別予算総括表

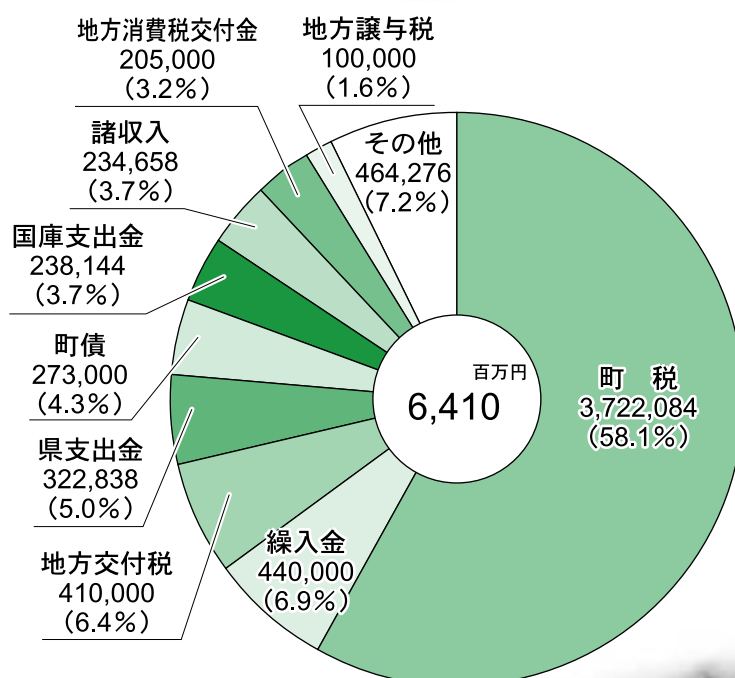
区分	予算額 千円	前年比 %	
一般会計	6,410,000	101.5	
特別会計	国民健康保険	2,434,659	117.9
	老人保健	1,606,795	100.2
	土地取得	206	858.3
	下水道事業	714,000	97.5
	介護保険	1,167,127	100.7
	小計	5,922,787	106.5
水道事業会計(支出ベース)	655,993	111.8	
合計	12,988,780	104.2	

阿久比の台所

平成19年度一般会計予算

歳入	予算額	前年比
	千円	%
町税	3,722,084	8.2
地方譲与税	100,000	△ 63.5
利子割交付金	16,000	△ 20.0
配当割交付金	7,000	0.0
株式等譲渡所得割交付金	16,000	100.0
地方消費税交付金	205,000	0.0
自動車取得税交付金	110,000	0.0
地方特例交付金	35,000	△ 52.1
地方交付税	410,000	2.8
交通安全対策特別交付金	5,000	0.0
分担金及び負担金	139,208	△ 6.8
使用料及び手数料	69,826	△ 0.1
国庫支出金	238,144	7.9
県支出金	322,838	1.8
財産収入	3,162	133.9
寄付金	3,080	1447.7
繰入金	440,000	△ 0.5
繰越金	60,000	0.0
諸収入	234,658	△ 0.0
町債	273,000	△ 2.2
歳入合計	6,410,000	1.5

歳入構成
(千円)



町の借入金及び基金

19年3月末
現在

内 訳	金額 千円	町民一人当 円
町債(借入金)残高	4,091,435	163,572
下水道事業特別会計公営企業債	4,737,275	189,392
介護保険特別会計事業債	28,000	1,119
借入金残高合計	8,856,710	354,084
基金残高合計	2,929,766	117,130

常任委員会レポート



耐震性貯水槽建設予定地

総務委員会

当委員会に付託された議案は、18年度一般会計補正予算、19年度一般会計予算など6件です。

19年度予算の主なものは、耐震性貯水槽（100トン）などを設置することや、企業の課税率を高めるべきであるなどの意見が出された。その他慎重審議を実施し、すべて可決しました。

（三留 享議員）

飲料水兼用耐震性貯水槽設置へ

建設産業委員会

当委員会に付託された平成19年度一般会計予算など6議案を審査いたしました。

宮津板山土地区画整理事業及び阿久比南部土地改良事業に伴い、道路線の認定と廃止は現地視察の上審議しました。補正予算は事業執行確定が主な内容であり、平成19年度予算関係は安全及び産業振興など慎重審議を実施し、すべて委員全員の賛成により可決しました。（稲葉景久議員）

農地・水・環境保全向上対策も



宮津板山土地区画整理事業始まる

文教厚生委員会

当委員会に付託された議案は平成18年度補正予算、平成19年度一般会計及び特別会計予算、阿久比町小中学生医療費の助成に関する条例の制定、母子家庭等医療費の助成に関する条例改正等11議案であります。慎重審議を実施しすべて可決しました。

（新海鋭一議員）

小中学生医療費の助成



新入園児（南部保育園）

阿久比町小中学生医療費の助成に関する条例の制定

賛成

杵内美渡子 議員

子どもの医療費無料化は少子化対策に有効な政策です。財政が厳しい中でも町民の要望が強けれ

ば拡大される事が示された点で画期的です。

無料化拡大にむけた取り組みは他の市町より積極的に、02年石川町政で

6才未満児の入院分が実現。04年就学前までの入院が実現。更なる拡大を求め共産党議員団も声を届けてきた。是非、通

院も拡大されたい。

反対討論なし

平成19年度阿久比町一般会計予算

反対

杉野 明議員

05年に「新地方行革指針」が国から出され、この方向で「集中改革プラン」をつくり住民福祉、くらしの予算を削減、一方では、定率減税廃止で住民には負担増を強いる予算となっている。

阿久比町災害応急対策又は災害復旧のため派遣された職員に対する災害派遣手当に関する条例の一部改正

反対

杉野 明議員

この条例案は災害応急対策のために派遣された職員に対する災害派遣手当だけでなく武力攻撃事態に伴う関係職員の手当も包含する内容になっている。

04年6月に成立した国民保護法は戦争のために、

賛成

三留 亨議員

自治体や、民間企業に競争協力の計画づくりや実行を迫り平時から戦争に備えさせる体制をつくらうとする一つです。

「国民保護法」は、わが国を取り巻く東北アジアの深刻な軍事的環境の変化に対し、国民の生命財産を守るべく制定されたものである。

政治や行政に携わる者の最も基本的な責務は、国民・町民の生命を守る

ことである。本町の職員も、そうした使命を持つて入庁した方が過半数であると信ずる。その人たちの後顧の憂いを取り除き、積極果敢に働けるよう条件整備をすることは当然である。

賛成

三留 亨議員

歳入面では町税、国県交付税、税源移譲、補助金等の動向が適正に把握されている。歳出面も福祉、社会基盤整備、教育等において従来施策の適正な計上に加え、新規又は特記事業も可能な限り計上されている。

昨年末の「地方分権改革推進法」の制定により、地方公共団体は更に自ら

の責任で行政を運営することになる。健全財政を確保しつつ適正な行政評価により活性化した行政運営がなされることを期待し賛成討論とする。

一般質問 問う

Q&A 市政を問う

ここが聞きたい

妊産婦健診の公費負担の拡大を

従来2回を5回に



枘内美渡子 議員

Q 妊娠や出産にかかる費用はおよそ50万円。現在妊婦無料健診は2回。国も少子化対策に有効と認め、各自治体に「14回程度公費負担が望ましい。最低5回は実施を」と財政措置をした上で指導している。全国でも拡充の機運が高い。大府市は一気に14回。東海市は7回。ともに産後も1回実施する。他にも10回、7回の自治体がある。町も更なる拡大をされたい。

A 妊婦健康診査につきましては、母体の健康確保を図る上で重要であるため、平成19年度より、従来2回から5回に無料健診を実施いたします。

また、妊産婦健診の更なる拡大につきましては、財政状況を見まして今後検討してまいります。

Q 昨年の第164国会

A 小中学生の入院医療費助

で医療費の自己負担は従来3歳まで2割が来年4月より6歳までと決まった。加えて、愛知県は中学卒業まで入院代が無料となれば町の負担は大幅に削減する。厚労省推進の「80・20」は永久歯が完成する中学校時期までの口腔管理の充実を解いている。

通院医療費無料化も拡大されたい。小学校卒業まで無料とした場合の試算は、1学年毎の拡大の予定は。

通院医療費無料化の拡大を
現段階では実施困難

介護保険料の減免制度は待ったなし

現在検討中

Q 制度が始まって7年。未だに「慣れない。保険料が高く不安だ」の声を聞く。愛知県下30の自治体が保険料減免制度を実施し、約2万件、総額1億8百万円を減免している。一宮市では申請も不要で、本人所得33万円以下までを対象にして好評である、町の方針を伺う。また、現行の基準額は全国の上げ幅の2倍と急激であった。引き下げの方法はある。検討を。

A 阿久比町介護保険条例の規定に沿ったかたちでの基準について、現在検討中です。

保険料の推移

自治体名	第2期	第3期	前期からの 上げ率
	03年度～	06年度～	
北部連合	2,990 ^円	3,941 ^円	31.8%
半田市	3,567	4,050	13.5
常滑市	2,800	3,200	14.3
阿久比町	2,910	4,380	50.8
武豊町	3,000	3,700	23.3
美浜町	2,600	3,500	34.6
南知多町	2,650	3,400	28.3
平均	2,931	3,740	27.6
全国平均	3,293	4,090	24.0
県平均	2,813	3,710	31.9



鈴木 一夫 議員

本町の財政状況の見通しは

5年後の予測は難しい



美しい阿久比を

Q

今後の阿久比町の財政状況及び企業誘致、自主財源の確保、雇用の安定確保が本当に大切な事だと理解をしています。

A

① 3年間に実施すべき事業を実施計画に盛り込み、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指したものと納まっている。

①

5年後の財源などの予測は難しく、3年間の事業計画となっている。

② 長期的展望については、景気の好不況や国・県の財政状況など見通しが立てづらい状況。

③ 優良企業の誘致や土地利用を促進し、自立した行政運営を目指したい。

企業誘致の状況について

未建設企業に早期建設を

Q

町長1期目の4年間はソフト面においてはほぼ合格点だと思えます。2期目はハード面で全力投球で頑張ってほしいものです。公約の現に向けて出来るものから着手し努力しているものと認識しています。

A

町内4カ所の工業団地で、6企業が操業し、2企業が未建設であります。草木工業団地の(株)デンソーは、関連会社2社の増設を行います。平成19年5月と来年1月の稼働予定として工事に着手しています。南部工業団地の(株)鶴弥は第3ラインが3月に稼働予定として進められています。

未建設の2企業については、早期に建設するよう要望をしていきます。



(株)デンソー

新年度予算を伺う

バランスある発展と住民福祉に全力



竹内 松彦 議員

Q ①19年度予算、どこに重点を置いて組んだか。

- ②子育て支援事業について19年度新しく組みこんだ予算はありますか。
- ③安心・安全についてどこにどのように予算付けをしましたか。
- ④地域活性化に対する予算はどのようになったか伺いたい。

A ①バランスある発展と住民福祉向上に全力を挙げられるよう予算を編成した。

- ②妊婦健康診査の拡充、東部学区に放課後児童クラブの開設、小中学生の入院医療費の助成など。
- ③英比小学校の耐震改修工事、白沢区民館の耐震補強、老朽ため池の改修事業、飲料水兼用耐震性貯水槽の設置など。
- ④農地・水・環境保全向上対策事業を計上した。



住民福祉向上に



阿久比のめざす生徒像は

幼保小中一貫教育につなぐ 欠落、落差、段差のない教育

Q 一昨年の10月に立ち上がったプロジェクト、1つの中学に4小学校と9つの幼稚園、保育園、これらの保育や教育に一貫性を持たせようというもの。レベルの高い中学生を目指しているようですが、

①それらに対する、メリット・デメリットは。

②子供たちにとってどのようなプラスになるか。

③教員にとって、仕事が増えるのではないか、その為に普通の教育が遅れはしないか伺います。

A ①知・徳・体の三本柱を責任をもって教える「欠落、落差、段差のない教育」を目指し、教師等が共通理解を図れた。

②小・中学校への入学がスムーズにできるなど子どもにも効果は大きい。

③教員にとっても、今までやってきた活動の意味づけや価値、その後のつながりがはつきりし、責任を自覚し創意工夫するなど、よりやりがいを感じている。



渡辺 功 議員

本町の課題と展望は

高齢化社会への対応

Q 議会において幾度も質問が展開され、かつ住民の感心が高い項目について、よりクリアにすべく当局の見解を質す。

ばなるほど、保険料は高くなりそうです。
②減免制度については阿久比町介護保険条例に沿った基準について検討中です。

1、介護保険について

介護保険事業計画の期間中は保険料の変更はできませんので、引き下げはできません。

①本町の介護保険料が高い理由について詳しく聞きたい。

③サービスを必要とする人数は、平成18年度から20年度までの間で、2、079人と予測しております。

②減免制度や保険料の引き下げは不可能か。

④サービスを必要とする人数は、平成18年度から20年度までの間で、2、079人と予測しております。

③平成18年～20年の3年間で介護サービスを必要とする人数予測は。

2、①現在循環バスを運行している近隣市町は、4市2町です。どの市町も一般財源から持ち出しをしています。

2、循環バスの運行について

②検討委員会のアンケートによると高齢者はタクシーによるサービスを期待している。今後も本町の地形等を考慮して最良の交通手段であるタクシーによる交通サービスを行う。

①近隣市町の運行状況と運行している自治体の課題は。

②本町でバス運行が難しいとした理由は。

②本町でバス運行が難しいとした理由は。

②本町でバス運行が難しいとした理由は。

A 1、①保険料の算定は保険給付費及び地域支援事業費と、第1号被保険者数によって決められます。国や県の負担金、支払基金交付金等の負担割合は一定となっていますので、保険給付費の見込み額が高くなればなるほど、保険料は高くなりそうです。

②減免制度については阿久比町介護保険条例に沿った基準について検討中です。

①本町の介護保険料が高い理由について詳しく聞きたい。

③サービスを必要とする人数は、平成18年度から20年度までの間で、2、079人と予測しております。

②減免制度や保険料の引き下げは不可能か。

④サービスを必要とする人数は、平成18年度から20年度までの間で、2、079人と予測しております。

③平成18年～20年の3年間で介護サービスを必要とする人数予測は。

2、①現在循環バスを運行している近隣市町は、4市2町です。どの市町も一般財源から持ち出しをしています。

上水道の課題への対応 安定供給の対応

Q ①本町の上水道の現状と課題は。

②水道料金の引き下げは出来ないか。

A 給水人口の増加等による給水収益の自然増に対し、下水道や区画整理関連事業等の建設改良に伴う経費が増加し、平成13年度以降、毎年度純損失を計上している。

今後、上水の安定供給を目的に第3供給点の建設、既存供給点の老朽化対策及び耐震化等の計画実施が必要であり、更に経費の増大が見込まれる。

このような中で、料金値下げは考えていない。

町行政の改革は 職員の意識改革を

Q 現行の行政運営は、1、組織の縦割り

2、単年度予算

3、前例踏襲主義

4、年功序列制度

など多くの問題がある。

従って、一層効率的行政運営を追求すべき。

①現状、役場で業務遂行する上での課題は。

②職員に対する人事評価制度の具体的内容は。

A ①職員の意識改革が一番大事とされている。

縦割り行政など、さまざまな弊害については幹部会の中で、部門調整を行い改善している。

庁舎の倉庫が狭いため机の上が煩雑。仕事しやすい環境づくりなど、出来る所から行っていく。

②勤務評定は毎年12月から1月に一般職と嘱託員全員を対象に行っている。

この勤務評定が職員の能力開発や指導育成となるよう検討していく。

職場体験学習は

実施時期の課題



二井登喜男 議員



職場体験学習

Q 阿久比中で、2年生を対象に231名が196の事業所で職場体験学習を本年度初めて実施した。大成功であったようだ。そこで、

- ① 実施に向けての様子。
- ② 生徒たちの反応。
- ③ 受け入れて頂いた事業所からの御意見、感想を。
- ④ 先生達の感想、問題点、課題。
- ⑤ 保護者からの感想、御意見。
- ⑥ 次年度は県の補助を受けると聞いた。実施計画は。以上詳しく伺います。

A ①商工会等と事前協議し、受入れ要請した。

②働くことの大切さ、大変さを実感した。
③生徒がまじめで一生涯命なのに感心した。
④事業所の方に親切に対応してもらい有難かった。実施時期が課題。
⑤親子の会話が増えた。
⑥今回の反省点を踏まえ、次年度は夏休み期間に、より充実した職場体験学習を実施したい。

妊婦健診の充実を

財政状況を見検討

Q 妊婦に伴う健診の費用には、保険適用がなく、妊婦は1回に6000円程度を支払っている。町では、公費負担の健診を5回に拡充予定だが、出産までに通常14〜15回健診する。子供を安心して産み育てるためにも、産後の健診を含めた、妊婦健診助成制度としての拡充が強く望ま

れている。町の考えを伺う。
A 妊婦健康診査につきましても、母体の健康確保を図る上で重要であるため、平成19年度より、妊婦健診を従来2回から5回に無料健診を実施いたします。また、産婦健診につきましては、財政状況を見まして今後検討してまいります。

グリーンカーテンの取組みを 実験的な取組を

Q うだる様な暑さの中で子供達が学ぶ教室に、クーラーはない。全国各地で、グリーンカーテンに取り組んでいる。効果は実証されている。わずかであっても子供達の為にできる事はやってあげたい。モデル教室として試してみてもどうか

A アサガオやヘチマなどを窓際に植えて、夏の日差しをさえぎり室温の上昇を抑えるグリーンカーテンは、暑さ対策として効果的なようだ。しかし、教室の中が暗くならないか、風通しが悪くならないか、など心配な面もある。効果や問題点を調べるために、実験的に取組むよう学校に提案する。



杉野 明 議員

新年度予算は

住民ニーズを把握し

Q 国の「行政改革」の押しつけで、本町も住民に対する負担増を求めている。地方自治体の役割は住民に対して負担を少しでも軽減する事にある。

- ① 定率減税廃止による歳入見込は。
- ② 定率減税半減による増税が保育料値上げにならない様に手を打ったか。
- ③ 本町に影響がないか確認する。
- ④ 各種補助団体への補助金カットはいくらか。
- ⑤ 免除団体の使用料はとるのか。収入額は。

A ① 定率減税の影響額として今回約6千5百万円の増となる。

- ② 保育料の算定は住民税又は所得税を基に算定するが、所得税で判定するものに影響がある。
- ③ 20年度の保育料算定で所得税を基に判定するものに影響があり、基本的に改正する。
- ④ 見直し分として、1千33万3千円減額となる。
- ⑤ 10月分から徴収して、本年度2百10万円見込む。



阿久比町庁舎

全国学力テストに参加するのは 自主的判断に基づき参加

Q 今年4月24日全国一斉学力テストが行なわれようとしている。学校間格差と選別の教育が横行し「豊かな人格の完成」に弊害が出ると指摘されている。

- ① 1966年「学力テスト」が廃止された理由は、最高裁判決の趣旨の内容は。
- ② このテストは学力向上に役立つのか。学校ごとのランク付けとなり問題を生じないか。
- ③ 犬山市の様に参加しない所もある。どう判断したか。

A ① 国によると、教育課程に関する方策の樹立等のための資料を得るという初期の目的を達したので廃止した。学力テストは合憲であり、自治体は国の実施要求に従う義務はないという判決が出た。

- ② 結果は学校と個人に返されるので学力の向上に役立つ。公表は学校のランク付けにならないように慎重に対応する。
- ③ 本町として自主的判断に基づき参加を決めた。

公民館使用規定について

規定に則った貸出を

Q 公民館使用は使用日の前2月前から3日前までに申し込むことになっている。

- ① 当日あいているのになぜ貸さないのか。
- ② 中止となった場合使用料返金はなぜしないか。
- ③ 政党の貸出し規定はどの

のようになってくるか。憲法21条からいって当然自由で使用できると考えるがどうか。

A ① 「使用備品の準備」や「使用の許可の制限」に該当しないかの判断が必要のためです。

- ② 使用者の都合で中止の場合も還付すると、必要以上に予約し、他の利用希望者の迷惑になるためです。
- ③ 憲法では集会及び一切の表現の自由を定めています。しかし、社会教育法では政治的中立を定めていますので法律に則った貸出を行います。

町財政の見通しは

財政確保に努める

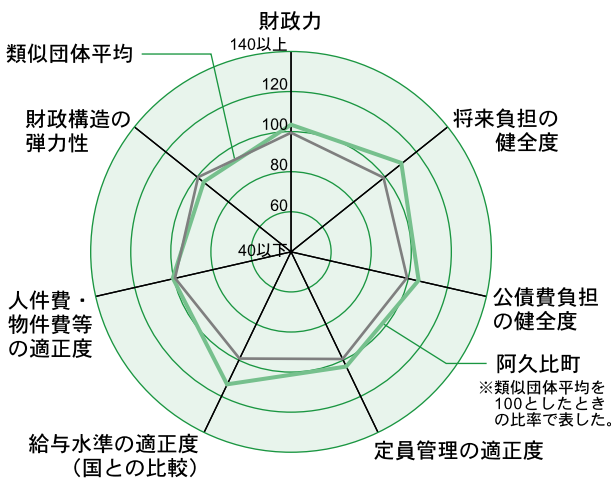


三留 亨 議員

市町村財政比較分析表 (平成17年度普通会計決算)

愛知県 阿久比町

人口	24,755 人 (H18.3.31現在)
面積	23.94 km ²
歳入総額	6,836,624 千円
歳出総額	6,300,306 千円
実質収支	391,758 千円



(注) 類似団体とは、人口及び産業構造等により阿久比町と同じグループに属する団体をいう。

Q 夕張市の財政再建団体申請は多くの自治体に衝撃を与えた。市長の暴走は当然糾弾されねばならないが、行政チェックを信託されている議会の責任も問われるべきである。政策判断は正確なデータによって行われなければならない。

① 本町財政の自己評価はどのような指標によって行われているか。また、問題点は何か。

② 町行政のバランスシートはどのようになっていくか。

A ① 財政状況を分析するため財政力指数や経常収支比率、起債制限比率などがある。全国と同規模の自治体平均に比べバランスがとれている。今後も行政改革を促進し財源確保に努めていく。

② バランスシートの作成は、平成17年度分が初めて比較する数値がなく、分析まで踏み込んでいない。今後も各年度のバランスシートを作成し、財政状況の把握と適正な財政運営に努めていく。

東部学区学童保育委託契約は

社会福祉法人と委託内容の合意



学童保育 (東部)

Q この4月からスタートする東部学区放課後児童保育について、先の12月議会で複数議員から、受託契約者の不満について指摘された。事業への影響を懸念する立場から以下について聞きたい。

① 委託契約先の強い不満の原因は何か。

② 委託先への懸念はないか。なしとするならば、どのように改善されたか。

A 昨年の段階において運営に関する委託内容・新規開設にかかる施設の修繕等の基本方針について、町内部で検討を重ねていた時期であり、委託を予定している社会福祉法人に対して方針を示せなかったためのものと思っております。

その後、町の基本方針について社会福祉法人と協議を行った結果、現在では委託内容等について合意を得ております。

こうしたことから開設に向けて又開設後の運営に対しても支障はないものと考えております。

あの答弁は どうなった!!

議会だよりでは、定例会の一般質問を掲載していますが、その後町政にどのように反映されたかを追跡しました。今回は平成17年3月議会の質問、答弁の中からピックアップし検証しました。(順不同)

Q

介護予防の取り組みは

A

筋力トレーニングの実施を検討

現状

平成19年1月1日に地域包括支援センターを開設しました。介護予防の事業につきましては、保健センターと密接な連携を図りつつ、地域包括支援センターを中心に進めてまいります。

Q

町の顔作りについて

A

阿久比駅等に案内板設置を検討

現状

昨年の3月22日に阿久比駅前に町の案内板を設置しました。



Q

農業用水・ため池の水を災害時の水源に

A

緊急水源として検討していく

現状

平成17年度にため池11カ所の点検調査を実施した。調査の結果から、危険度に応じたため池の改修を行い、防災機能、地震時の安全性に努めます。

Q

指定管理者制度について

A

法の趣旨に則った調査・研究をする

現状

18年4月から老人憩の家7カ所ともちの木園を、19年4月から地区公民館5カ所と白沢区民館を指定管理者により管理しています。

いきいきボランティアグループ⑪ ふれあいの会

真冬のしもつたもてなしを

地域の福祉は行政のサービスと共に、多くのボランティアによって支えられている。町内で活躍するボランティアグループを紹介します。

私達ふれあいの会は、

町の健康保持事業（南部宅老所）のボランティアグループです。

発足して4年6カ月を過ぎました。会員は60名です。月1回、高岡老人憩の家で活動をしていま

す。

南部宅老所の特徴は、お食事に力が入っている事でしょうか。なぜかと

言いますと、利用者の多くの方はお年寄りのみのため、家族のような



ふれあいと共に真心のこもったもてなしに重点を置いていくからです。お昼近くになって、台所から漂うおいしそうな匂いはたまりません。それだけに、会員の皆さんに負担がかかり心苦しく思っています。笑顔で活動して下さっています。他には女

性の利用者が多いため、小物作り、健康体操、太極拳、ゲーム、歌などで一緒に楽しい時を過ごさせて頂いています。また、多くの方にボランティア訪問をお願いしています。特に保健センターの方に隔月訪問していただき助かっています。

その他の活動としては年1回、日帰り研修を行なっていて、とても好評で参加者も多いです。昨年は介護保険、保険センターで催された健康講座にも多くの会員が出席して勉強になりました。

利用者の方からは人生の経験を通して、色々と教わる事がいっぱいです。物を大切にすること、人の心に添う優しさ、温かさ、そんな中で生きがいも見い出しています。うつ病を乗り切った方もい



南部宅老所

ます。人は寂しく仲間の欲しい時もあります。そんな時、自分と同じような思いの友と語り合っていて元気の出る事もあります。利用者がおしゃべりに夢中になっている姿を見ると「毎日よくおしゃべりの種があるなあ……」と思います。その楽

しさも分ります。男性の会員の方もとても助かっています。重い机の出し入れ、受付、外出の際など心強く助かっています。もっと参加者が増えることを望みます。活動を通してボランティアの理解を深めてもらい、心豊かな町づくりのお手伝いが出来る事を心嬉しく思います。会員のみんなの気持ち「やらなければ」から「やりたい」へ変わりつつあるように感じます。このような思いを一人でも多くの方と共有できる活動がしたいと思います。

（代表 細井定快）

次回定例会

6月8日(金) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴をお待ちしています

問い合わせ先

☎48-1111
議会事務局へ

編纂委員会

3月定例会後の3月25日午前9時すぎに、石川県能登半島で地震が発生した。

その後各地よりボランティアが集まり活動している。

くしくも私たち議員は去る2月6日に議員研修会が開かれ、「被災を知って防災に活かそう、被災地から学んだボランティア」と題して、トヨタ自動車株式会社、社会貢献推進部ボランティアセンター長の鈴木木盈宏氏の講演を聞いた。いざという時私たちは何が出来るか、考えさせられた研修会であった。

また、私たち編集委員の最後の「議会だより」の発行となりました。2年間のご愛読ありがとうございました。

編集委員

石川 英治
稲葉 景久
岡戸 宏之
澤田 道孝
新海 鋭一